

令和3年度 明正小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立明正小学校 所在地：中央区新川2-13-4

校長名：佐藤 興二

児童数 394名 学級数：通常級14 通級言語：2 通級難聴：1

教員数 25名 職員数6名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

※各項目において、
 達成している（十分達成している＋達成している）
 改善を要する（改善を要する＋緊急に改善を要する）
 わからない …の3項目について回答の割合を示す。

重点目標1 確かな学力の育成

①児童は授業の内容を理解し、漢字や計算力などに基礎・基本を身に付けることができたか。

・達成している（86.4%） ・改善を要する（4.5%） ・わからない（9.1%）

②児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に取り組んでいたか。

・達成している（81.8%） ・改善を要する（13.6%） ・わからない（4.5%）

重点目標2 豊かな心や創造性の育成

①児童は様々な集団活動に自主的に取り組んだり、状況に応じたあいさつをしたりしていたか。

・達成している（40.9%） ・改善を要する（59.1%） ・わからない（0%）

②児童は友達の良さを見つけたり、思いやりのある行動をとったりしていたか。

・達成している（59.1%） ・改善を要する（36.4%） ・わからない（4.5%）

重点目標3 健やかな体の育成

①児童は、体育朝会やなわとび大会・マラソン大会等の取組を通して、運動する楽しさを味わっていたか。

・達成している（90.9%） ・改善を要する（9.1%） ・わからない（0%）

②児童は、手洗い・うがいなどの健康を維持する活動や食育の授業を通して、心身の育成や健康について意識を高めていたか。

・達成している（95.5%） ・改善を要する（4.5%） ・わからない（0%）

上記重点目標の1と3については概ね満足できる達成状況であるが、2の中でも特に①については、達成している割合が40%台に留まっている。教員側は、児童にもっと挨拶してほしいという願いをもちつつ、声かけ、励ましなどの取組を行っている。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

「学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。」「学校はICT機器や図書室を活用している。」など19の項目について評価した。いずれも『達成している』回答が68%～93%の評価をしている。最も低かったのが「学校は児童の問題や悩み、トラブル等を見逃さずに相談にのったり指導したりしている。」で68.2%。最も高かったのが、「学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。」で93.0%であった。

児童の問題や悩み、トラブルについては、学級担任を始め多くの教員が児童と関わり、ト

ラブル解決に尽力しているところである。ただ、教員の自己評価としてまだ十分ではないという認識が見られた結果とも言えよう。スクールカウンセラーの活用や問題解決に学校全体で取り組む等、今後もより進めていくことで児童の声に伝えていきたい。

3 今後の改善方策

重点目標の一つである「あいさつ」については、児童アンケートや保護者アンケートでは、十分達成していると評価されている。教員側との意識の違いが明確な項目である。児童はやっているつもりでも、教員としてはまだ満足できない、という面も見られるのであろう。これまでも児童会活動などを通して取り組んできたが、様々な工夫と取組でより向上させていくことで、教員側でも達成感が高められるよう努力していく。